

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
ディスバットマム(12月出荷作型)	人	ディスバットマム(12月出荷作型) a	1. 施設面積60aのうちの1作。 2. 品種はディスバットマム系統複数品種。 3. 加温は暖房機とヒートポンプを併用。 4. 省力機器として自走式防除機、灌水同時施肥システム(日射比例型)、防虫ネット、自動選花結束機を導入。 5. 環境制御栽培を導入。 6. 電照栽培としてLEDを使用。 7. 選花作業中、輸送中の花卉の傷みを防ぐために保護ネットをかける。
	2	計 10 経営耕地面積 水田 100 a 畑	
経営目標	1 農業総収入	4,436 千円	4 1日当たり農業所得 20,075 円
	2 農業経営費	3,673 千円	5 1人当たり年間労働時間 152 時間
	3 農業所得	763 千円	

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	作業場・倉庫	1	鉄骨・100㎡	1	9,451 千円	24 年	25 千円
	低コスト耐候性ハウス	1	低コスト耐候性ハウス・1000㎡	1	26,606	14	317
	防油堤	1	1900k	1	538	25	22
	オイルタンク	1	1900k	1	512	7	37
	計					37,107	
農機具	トラクター	1	21ps	1	1,710	7	122
	土壤消毒機	1	歩行型(管理機付)	1	86	7	6
	管理機	1	6.3ps	1	206	7	15
	動力噴霧機	1	3.1ps	1	161	7	12
	軽ワゴン	1	660cc	1	1,340	4	168
	軽トラック	1	660cc	1	902	4	113
	温風暖房機(煙突セット含む)	1	100,000kcal	1	1,687	7	121
	冷蔵庫	1	3坪	1	1,282	7	92
	自動選花結束機	1	下葉取り、重量選別、自動結束	1	6,308	7	451
	灌水装置(地上液肥混入、頭上)	1	コンピュータ制御・電磁弁・日射比例	1	2,888	7	206
	自走式防除機	1	1式	1	1,520	7	109
	ヒートポンプ	2	10aに2台設置	1	3,466	7	248
	循環扇	6	10aに6台(3連棟×42.5m)	1	207	7	15
	防虫ネット	1	1式	1	144	4	18
	電照設備(LED)	1	1式	1	1,509	7	108
環境制御装置	1	1施設に1台	1	1,338	7	96	
炭酸ガス発生装置	1	1施設に1台	1	418	7	30	
局所施用設備	1	1施設に1台	1	418	7	30	
計					25,591		1,956

3. 技術体系(ディスバットマム12月出荷作型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
穂冷蔵		8月	冷蔵庫	1	3	3		・2～3℃で冷蔵
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地 基肥施用 ネット設置 支柱設置	8月	土壌消毒機 管理機 トラクター	4	12	48	堆肥3t 苦土石灰100kg フラワーネット 800m 支柱720本	・窒素、磷酸、加里 各12kg、10.5kg、10.5kg ・フラワーネット 10cmの7目
定植	直挿し	9月		4	16	64	穂 48,000本	・中1目あけて6条植え、1目に1本植え
べたがけ設置		9月		2	2	4	石灰マルチ	・べたがけ前に灌水を十分行う。
べたがけ除去		9月		2	2	4		・活着後(7～14日)、べたがけを除去する。
電照管理		9月～11月	電照装置	1	2	2	LED 140個	・電球型LEDを使用 ・深夜4時間の電照 ・消灯は定植後30～35日目を目安とし、消灯後14日目から4～5日程度の再電照を行う。
温度管理		9月～12月	暖房機 ヒートポンプ	1	20	20	重油 350ℓ 電気 6,647kw	・消灯前は無加温、消灯後20～25日間を16℃、その後収穫までを14℃で管理する。 ・昼温は25℃を目安に換気する。
灌水	頭上、地上灌水	9月～12月	灌水同時 施肥システム	1	8	8		
ピーナイン散布		11月、12月	動力噴霧機	1	9	9		・消灯時に3,000倍、発蕾期、摘蕾期に各1,000倍液を、100リットル/10a茎葉上部に散布。
摘芽、摘蕾		11月		4	60	240		
ネットかけ		12月		1	24	24		・デコラ系のみ出荷日の前日に花卉保護用のネットをかける。
収穫、出荷		12月	自動選花 結束機 軽トラック	4	44	176		
病虫害防除		9月～12月	自走式防除機、動力噴霧機	1	15	15		・県病虫害防除基準による。
炭酸ガス施用		10月～12月	炭酸ガス発生装置	2	2	4	局所施用装置設置	・施設を加温する時期に合わせて施用を開始。 ・外気濃度400ppmを下回らないように施用。 ・花芽や草姿の様子を観察し、生育状況に合わせた施用を心がける。
				1	9	9		
後かたづけ		1月	軽トラック	2	16	32		
計						662		

